

平成28年度 農業委員会  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
農業委員会の適正な運営及び耕作放棄地を解消し農地の最適化を促進させる。	1.農業委員会改革に対する対応	・改正された農業委員会法に基づく関係条例等の整備及び組織の見直しが必要になる。	・先行団体への聞き取り調査を実施すると共に、旧集落単位での地元説明会を実施する。 ・委員会での改正後の体制での運営方法について協議する。	・7月及び8月に延べ5回の地元説明会の実施し、関係する例規の整備ができた。 ・結果、農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦依頼を各地域にすると共に募集を3月15日からの1か月間で実施するところまで対応できた。	A	
	2.耕作放棄地の解消	・市内の耕作放棄地において、新規発生を含め3.0haの解消を目指す。 ・利用状況調査を基に、利用意向調査を実施し、農地の最適化を推進する。	・日々の農地パトロールや「農地利用状況調査」を実施し、適正に利用されていない農地所有者等については、是正指導を行うとともに、農地バンクへの登録、農地中間管理事業等を通じて担い手等への利用集積を図る。 ・農地耕うん作業受委託制度の活用により農地の荒廃化を防ぐ。	・農業委員の熱心な指導により、目標の3.0haにはとどかなかつたが、2.2haの解消ができた。	B	・今後も引き続き、日々の活動の中で解消のための指導と、未然防止に努める。
	3.違反転用の発生防止と解消	・適法な転用行為を指導することで違反転用の発生を防止し、前年度発生 of 違反転用を解消する。	・前年度の転用許可案件の総点検を年1回行うとともに、日常的な監視強化による早期発見を目指し、前年度違反者には京都府とともに是正指導を行うことで解消を図る。	・当年度発見した違反転用については、所有者等に指導し一定の復元はできた、過年度から府とともに、所有者に繰り返し指導している案件については、占有物はほぼ撤去できたが、土地の現状復旧には至らなかった。	B	・今後も引き続き、日々の活動の中で解消のための府と連携して指導と、未然防止に努める。

平成28年度 農業委員会  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.農業委員会の情報発信	・農地の適正な利用(耕作放棄地及び違反転用発生防止に向けた啓発活動)、農業の活性化(利用権、農地バンク制度、農地耕うん作業受委託制度の周知活動)、法改正の周知、委員会活動の可視化を図る。	・年度内に3回の発行を目指し、広報アイデア委員会の開催、編集作業、取材等を行い、充実した紙面作りを目指す。 また、ホームページを活用し、鮮度の高い情報発信を図る。	・年3回発行を達成し、委員会制度の改正についても3回にわけて内容を詳しく周知できた。また紙面の構成についても広報アイデア委員会で熱心に意見を出していただき、28年度の京都府農業会議の広報誌のコンクールにおいて、5年連続の3位から1位を獲得できた。	A	
	5.農地基本台帳の整備	・農地基本台帳の法制化に伴い、旧台帳からデジタルデータ化された内容の精度を高める必要がある。	・過年度に補助金事業を活用して点検された旧台帳及び総会資料等とデジタルデータとの不整合を着実に修正していく。	・計画した部分の不整合は、日々の点検においてほぼ修正できた。	B	・今後も、日々の点検において継続して旧台帳とデジタル台帳との不整合を修正し、正確な台帳整備に努める。